1つた人の

令和7年9月 第473号



(1)

「胃を切った人 友の会 アルファ・クラブ」は、 胃を切った人が自らの努力と工夫で術後の 後遺症を克服していくことを支援しています。 Web サイトもご活用ください。

胃を切った人

検索

http://www.alpha-club.jp

■代表理事 青木照明 (東京慈恵会医科 大学 客員教授) ■理

足達洋六 (アルファ・クラブ個人会員) 上西紀夫 (東京大学名誉 **裕**(国際医療福祉大学病院 院長) (医学ジ スト) 高山美治 梨本 篤 (新潟西浦メディカルセンター病院)

カーという不摂生 こともなく暴飲暴 ところが、 の毎日でした。 体に留意する ヘビースモー 胃を

あるふぁ随筆。

が < h た 贈 4)

物

山常 田だ 修

アルファ

e V

の念

てきました。 りがたいことなん という気持ち 腹 0 底から湧

してからは、

がでやってきたの たのです。 それまで自分を取 して生きていられ、 人たちの助けがあってこそ、 に心も変わったような感覚を覚え り巻いていた外界が それまでは自分が自分 が、 仕事もできる 変 自分以外の Ļ こう 同 時 き上

臓

私たちの意思には関係なく黙々と 感謝する気持ちになりました。 体に備わっている臓器は

胃がなくても生きていける

が

0

ようとしている。 か ように、 てくれている慈愛に満ちた人々の つて〉 一康な人も、 それに加えて、 器の一 た思いも湧いてきたのでした。 いる。 思えたのであります つひとつが、私を支え 平等に命と体を みんな一生懸命生き 生きたいのだ。 病を抱えた人も 〈授

のだということに気がついたので

それからはどんなことにも

わずに未消化の食べ物を引き受け がら考えを巡らせたしだいです。 な人間のよう は胃がなくなっても、 13 あたかも使命感に駆られた律 7 いることにも、 働 いてくれ 文句も まさらな てい 若

11

頃

から

生

かして

11

ただ

目にした

この

るの

して 私が生まれたときから一度たりと 動し 肺 いるし、 は私が眠 っている。 心臓も昼夜を問わ 0 すべての臓器 ている間も呼 は

この体と命を維 んといじらしくあ するべく、 も休むことなく、 めじゃないか。 働きづ すが、 ない だ? だれ り聞 ことに、 る」という言葉を、

た私が、 たさで満たされた毎日です。 やっているのだと思い上がって 励まされたものでした。 になり、 かされてい ・頃は、 胃を全摘してからは、 現在では る
、 何ごとも自分の というあり 〈不思議な力に がん 力 ど が 11

残りの人生をひたすら 老いに謙虚に 向 き

贈り物に思えるのです。

一細な出来事もかけがえ

ら感謝しつつ、 つくすぞ! 自分を取り巻くすべてに 右の銘になりました 心 か

どんなことにも感謝

変わりようにも感謝です。 にも感謝したくなるという、 してもこうして生きていられるこ 歳になりました。 ありよう、 43歳で余命宣告を受け、 :んになるまでは病気とも 大病になる前にはなか 私には奇跡としか思えませ すなわちどんなこと がんで胃をなく 0 た心 無 76 縁

13

るのです。

が強まってきました。 かったことに対してはもちろんで クラブの会報の記事にも、 かりなのです。 自分が食べたり飲んだりしている ところが今では、 いたりしたものです。当時は、 胃がなくても生きていける こうして生きているんじ とピンとこなかった。 生かしてもらってい 年を追うごとに感謝 が ん ピンときてば

0

再

発

がな

(第5回室生犀星賞受賞)

ウェブサイ 「会員のひろば」への期待



嶋野

早期胃がんで4年前に胃

アルファ・クラブ座談会

◆出席者◆

まだりようろく 足達洋六 (司会) もりもとけいこ 森本啓子 みゃざきもとい

きょうまきのり ひさもと つより 事務局

てくる流涙症 りゅうるいしょう 分の2切除し、 16年 した。術後は抗がん剤治療の重パ節の転移のうち13個を取りま 宮﨑 を受け、 症状に苦しんでいます。 趣味はマラソンです。 太平洋戦争下の生まれで 一昨年の暮れに胃 翌年の春に入会しまし 16年前に幽門側を3 症にかかり、 戻が常にあふれ 15個あったリン

ご意見をいただき改革していき ができるようにしたく、 摘して入会しました。 たいと思います。 たしました。会員に良い支援 木照明理事長 年前に胃幽門側を亜 から理事を拝命 年1月、 の手術 ます。 りました。これらもがんの一 事だと思います。 3ヵ月ごとに経過観察をしてい なケースです。大腿骨のほうは どちらも10万人に1人という稀 脈瘤と肉腫が見つかりました。 です。その1 に腹膜肉腫と脂肪肉腫が見つか 胃がんの後に子宮を取り、 2 V して30年以上がたちました。 ます。おかげで脂肪肉腫も見 かりました。検診は本当に大 今までに5回手術をしました。 胃カメラもずっと受けて

年後に大腿骨の動

さら

れていて、

お好きなところに投

「会員のひろば」とは

会ウェブサイトの会員専用。 事務局 「会員のひろば」は や希望を伺いたいと思います。知っていただき、皆様のご意見知っていただき、皆様のご意見 ニューで、 入れてログインしたら「会員の 交換をするためのプログラムで メールアドレスとパスワードを 0) ひろば」の周知と改善です。 まず会員ログイン画 去年12月に開設した「会員 この座談会の目的 「会員のひろば」 会員さん同士が情報 は本 面 メ

間に補食をとっています。 3回の食事を少なめにして、食 た。一度にたくさん食べられず、 の幽門側を3分の2切除しまし

それ

旦後に病 切除後後遺症への対応」と分か 紹介」「食事の工夫・レシピ」「胃 に掲示板があり、 ひろば」 掲示板はテーマが「自己 入ります。 そこで投稿 下 \dot{o} ほ

気が発覚して手術

次男を出産した直

投稿と返信ができます。 ネーム(匿名)で、どなたでも その下に、それに対する久本さ けての食事」という投稿があり、 投稿された「フルマラソンに向 クすると、 稿ができます。 んの返信があります。 試しに「自己紹介」をクリ 一番上に岩佐さんが ルーム ッ

投稿者が少ない現状

事務局 も投稿してみましたが、 ば」を開設したのですが。 声が多くあったことから「ひ 話し合う場はありますかとい ありませんでしたね。 したが、過去の投稿がほとんど 下「ひろば」)に投稿してみま いことですが、「ひろば 直接お話しできるの は便利だと思います。 所に制約されずに利用 私も「会員のひろば」(以 今まで会員さん同 は は 士 時 う で

ラミドを多めに飲んでいます。

バで体を動かしています。 ポーツジムに通い、

ヨガとズ

薬がなく、

今は下

・痢止めのロペ

10㎏ほど減ったままです。 でも下痢や腹痛が多く、

体重は

いました。ただ、動機がないと 非常に価値があるサイトだと思 すごくありがたいでしょうし、 がここで会話ができれば、 似 た症状や悩みを持つ人 もの

簡便にアクセスがしたい

というシンプルな仕組みが良い 員全員に通知が入ってくる。そ ルシステムのアイコンをつくっ にたどり着く会員専用のEメー 入れると良いですね。 けませんでした。もっと簡単に たのですが、ログインしたあと 「ひろば」になかなかたどり着 そこに誰かが投稿すると会 一番簡単なのは、「ひろば」 私はスマホで見ようとし 返信できるならする そこを少し考えて

専門家によるフォ プ体制の確立を 口 I アッ

からない内容には、 のアドバイスもほしいですね。 アドバイスが必要不可欠だと 会員同士のやり取りだけ 医療の専門家でないと分 医師や栄養士さんなど 専門家から

が

非常に大きい。

この食事管理

続きしないですしね。 考えています。それがな しかし、本会にはタイム 11 いと長 リ Ì

術後1年間に5、6回も食事相ます。非常に素晴らしいのは、 談を行っています。 こにあります。 織のシステムができあがってい ター新潟病院を訪ねた理由 織システムがありません。 に いったフォローアップを行う組 私が先般、新潟県立がんセン 専門家のアドバイスを出 同病院ではそう す組 にはそ

11

ただき、幅広くアドバイスが

できるようにしたいです。

先生と後任の會澤雅樹先生におそこに以前いらした藪崎裕 で、一時的な支援をしていただ ターが持っている組織システム 会いして、新潟県立がんセン を質問者に返す仕組みです。 らアドバイスをいただき、それ 潟県立がんセンターの専門家か 対して、本会事務局を通じて新 くことをお願いしてきました。 つまり「ひろば」への質問に

3 アップ組織の確立です。そこで が バ 必要と考えています。 つのアドバイザリーグループ イスをするためのフォロー その次の段階は、 胃切除後は食の問 円滑にアド 題

筆いただいている佐川 ているので、数名の先生にお願 生にお願いしたいと思い 遺症です。これは多岐 0 いし、どなたかに中心になって アドバ 2つ目は、 イザー 術後の身体的な後 まさの先 にわたっ れにも ます。

が充実し、広く利用されてくるループがあって初めて「ひろば」 0) でのアドバイスグループです。 たQOLと体力・筋力強化の面 そういったバックアップグ 3つ目は、精神的な面も含め ではないかと考えています。 ープがあって初めて「ひろば」

|アルファ・クラブの

い合わせたら、すぐに話を聴いにメーカーの大鵬薬品工業に問 とのことでした。後日、 師や眼科医に情報提供している 付文書を改訂し、がん担当の医 てくれました。その後、 です」といわれました。 届けるのはとても有意義なこと 患者さんの生の声を製薬会社に 主治医から「あなたのこと、 0) 薬品 副 **【作用で流涙症になったとき** から報告がありました。 抗がん剤ティーエ その後、 眼科の 薬の添 スワン 大

> べきだと思います。 会として医師やメー んな例が出てくれば取り上げて、 いうことです。「ひろば」にそ 涙症 の患者は少なくなったと カーにいう

足達 緒に、厚労省に働きかけること たように、 医療は改革されると思います。 では障害の範ちゅうに入れてい も必要だと思います。 方があれば、宮﨑さんがいわれ 改善が難しいことで困っている 題を提起して声を上げていけば、 ない。そういう面で、 いハンディですが、厚生労働 胃がないのは、 医師のグループと一 本会も問 実は、 はすご

岩 佐 な面 療は避けたいのが本音です。そ ことも価値あることですね。 だまだなんです。そのギャップ 思っていても、患者のほうはま 術がうまくいって治っていると んが声を出していくことが の治療が保険に収載されれば病 を、お医者さんに知ってもらう いていますが、医師のほうは手 で保険や国の支援がない 病院にとっては、 会報で鈴木裕 先生 財政 が